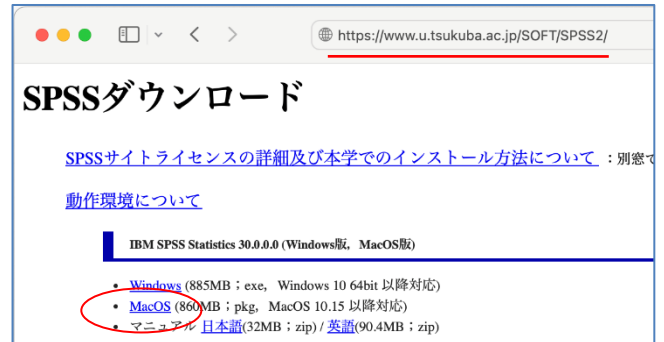


# SPSS Statistics 30.0 for MacOS X サイトライセンスによる SPSS インストールマニュアル

## インストールプログラム入手

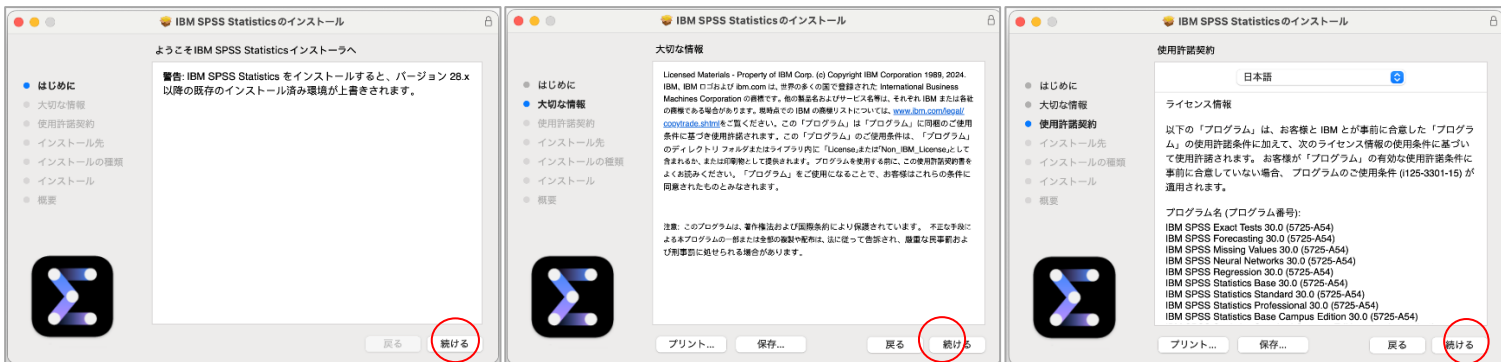
0. 学内ネットワークに接続し、Web ブラウザを起動します。  
アドレスバーに `https://www.u.tsukuba.ac.jp/SOFT/SPSS2/` と入力します。「MacOS (SPSSSC\_30.0.0.0\_Mac\_OS.pkg)」をクリックしてください。ダウンロードが始まります。  
★学外の場合は学術情報メディアセンターが提供している VPN サービスを利用して学内ネットワークに接続してください。



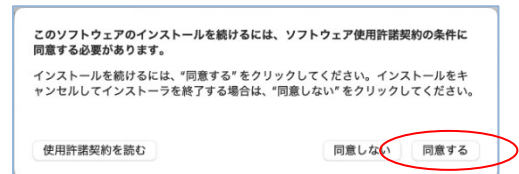
## インストールの実行

ダウンロードした pkg ファイルを開くとインストールが実行されます。

1. 「ようこそ IBM SPSS Statistics インストーラへ」画面が表示されます。「続ける」をクリックしてください。
2. 「大切な情報」画面が表示されます。「続ける」をクリックしてください。
3. 「使用許諾契約」が表示されるので確認し「続ける」をクリックします



“このソフトウェアのインストールを続けるには…”と表示されるので「同意する」をクリックします



4. インストール内容が表示されます。「インストール」をクリックしてください。
5. “インストーラが新しいソフトウェアを…”と表示されるので管理者権限の名前とパスワードを入力し「ソフトウェアをインストール」をクリックします。ファイルのコピーが始まります。しばらくそのまま待ってください。
6. インストール完了画面が表示されます。「閉じる」をクリックします。



## ライセンス認証（ライセンスマネージャ名の設定）

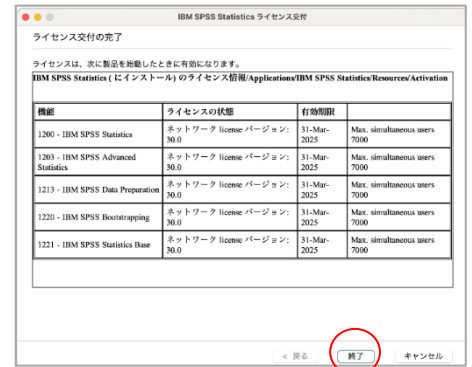
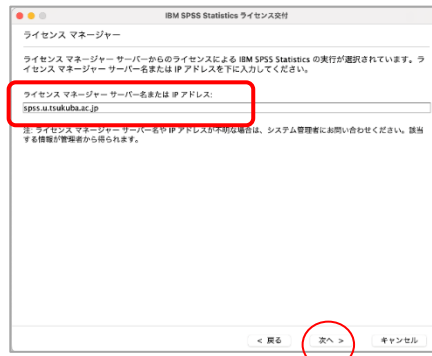
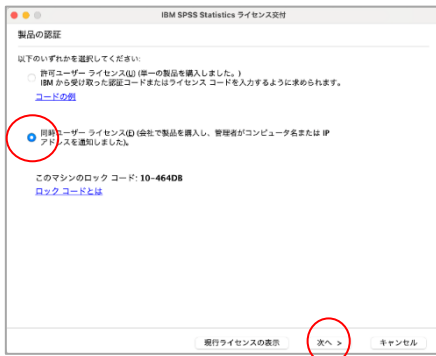
Statistics を起動します。初回起動時に[IBM SPSS Statistics のアクティブ化]画面が表示されます。

「ライセンス ウィザードの起動」をクリックしてください。

（製品メニュー「ファイル」>「ライセンスの管理（Manage License）」でも迎えます）



7. 製品の認証が表示されます。「同時ユーザライセンス」を選択し「次へ」をクリックします。
8. 「ライセンス マネージャー サーバー名または IP アドレス」に「spss.u.tsukuba.ac.jp」と入力して「次へ」をクリックします。
9. ライセンス交付の完了 画面が表示されます。「終了」をクリックします。



注意：インストール時にネットワークに接続している必要はありませんが、SPSS の起動時・使用時には学内ネットワークに接続し、ライセンスサーバ（spss.u.tsukuba.ac.jp）と通信する必要があります。学外で使用する際は、学術情報メディアセンターが提供している VPN サービスを利用して学内ネットワークに接続してください。（学生宿舎は 2017 年 3 月から学内ネットワークではなくなりました。学外と同様に VPN サービスを利用してください）

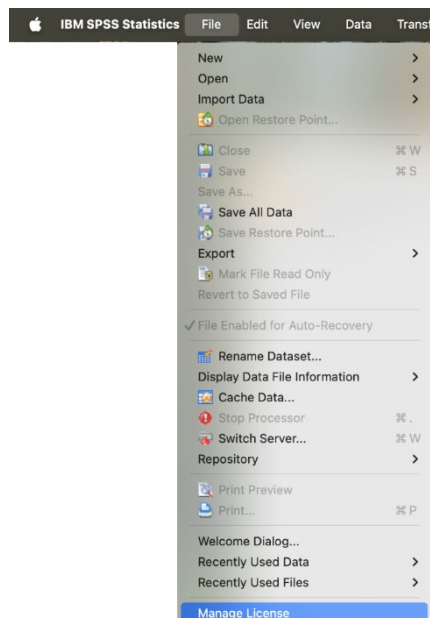
問合せ先：学術情報メディアセンター accc-software@cc.tsukuba.ac.jp

## MacOS X SPSS バージョン 30 コミュータライセンスの利用

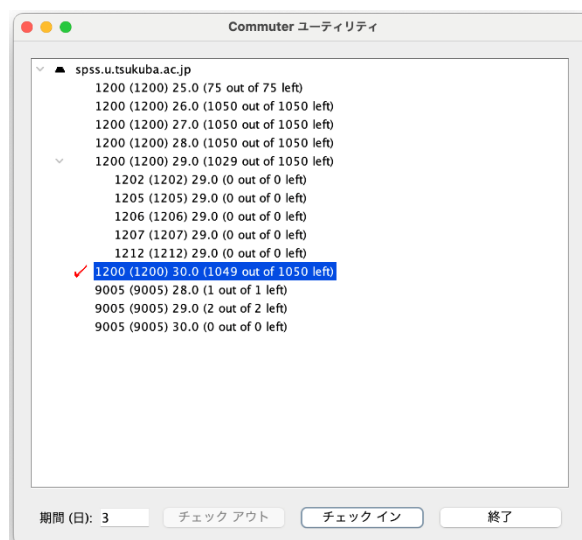
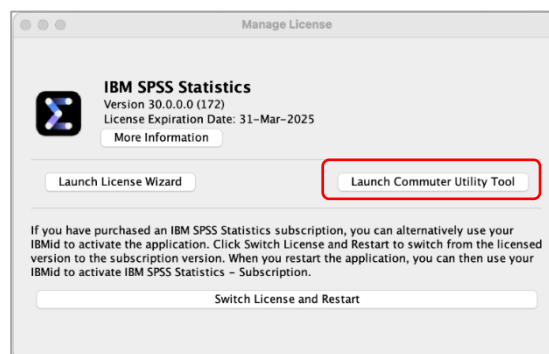
SPSS の起動には学内ネットワークへの接続が必要ですが、ライセンスをチェックアウト(借用)することでネットワークに接続できない場所でも SPSS が使えるようになります

**\* 借用は学内ネットワークに接続した状態で設定します**

### 1. SPSS Statistics を起動し、

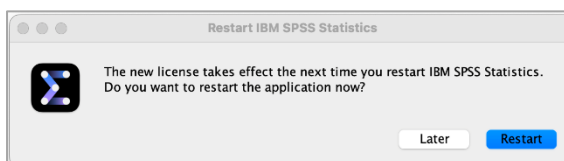


[ファイル] -> [ライセンスの管理] -> Commuter ユーティリティツールの起動  
を実行します



### 2. Commuter Utility が起動します。

使用している SPSS のバージョンと同じものを選択して「チェックアウト」をクリックする。借り出しに成功すると文字列の先頭に赤いチェックマークが付くので「終了」をクリックする。(既定値では 3 日間、最大 7 日間借り出しが可能です。7 日間借り出すには、期間欄を“3”から“7”に変更してから「チェックアウト」を実行すること。)



再起動するかは任意で選んでください

### 参考

借り出し期間はインストールの既定値として 7 日間に制限されている。以下の方法でクライアント PC の設定を変更することで最大 30 日のチェックアウトが可能となる。ただし、この場合でもチェックアウト時に期間の数値を明示的に変更すること。

1. [アプリケーション]->[IBM SPSS Statistics]->[Resources]->[Activation] フォルダ内にある
2. commutelicense.ini ファイルをテキストエディタで開きます
3. CommuterMaxLife の数値を 30 に書き換えてください
4. ファイルを保存してから閉じます。

